

晩抽性で長期間供給可能な多収量コンパクトネギ「ゆめわらべ」の特性			
[要約] コンパクトネギ「ゆめわらべ」(野菜茶業研究所育成)は5月の抽苔株率が低く、初夏～冬どり栽培に適する。また、コンパクトネギ「ふゆわらべ」(野菜茶業研究所育成)より生育が旺盛で収量性に優れる。			
農業総合センター園芸研究所	平成25年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

近年、社会情勢の変化に伴い、単身世帯および少人数世帯で使い切りサイズとしてゴミが出ないことや持ち運びに便利なネギの需要が高まりつつあり、コンパクトネギは消費者ニーズに対応したネギとして関心が高まりつつあるが、既存の品種では周年的供給には至っていない。

そこで、コンパクトネギ「ゆめわらべ」の特性を明らかにし、作期の拡大を図り、周年的安定生産技術を確立する。

2. 成果の内容・特徴

1) コンパクトネギ「ゆめわらべ」は、根深ネギ「春扇」より葉鞘部および軟白部が大きく短い(図1-A)。また、冬どりに適した「ふゆわらべ」より葉鞘部および軟白部が長く、外観品質に優れている(図1-B)。

2) 5月どり栽培(トンネル被覆およびマルチ展張)において、草丈、葉鞘部および軟白部が「春扇」より短く、「ふゆわらべ」より長い。しかし、葉鞘部が「春扇」および「ふゆわらべ」より太いことからL級以上比率が高く、換算収量は5,300 kg/10 a程度である(表1)。

3) 8月どり栽培(露地)において、草丈、葉鞘部および軟白部が「ふゆわらべ」より長く、根深ネギ「夏扇3号」と同等である。葉鞘径は「ふゆわらべ」「夏扇3号」より大きいことから、L級以上比率は著しく高まり、換算収量は5月どり栽培と同様に5,200 kg/10 a程度と多い(表1)。

4) 5月どり栽培における抽苔の発生は、5月下旬でも0(平成25年)～5%程度(平成24年)と「ふゆわらべ」より著しく少ない(図2)。

3. 成果の活用面・留意点

1) 野菜茶業研究所が品種登録出願を行い、平成24年7月19日に公表された。

2) 「ゆめわらべ」は夏季に分げつの発生がみられることもある。

3) トンネルの換気は、ネギの葉身部がビニルに触れる頃からトンネル内の気温が25℃を目安に天候を勘案しながら行う。トンネルの除去は3月下旬からとし、早くなり過ぎないようにする。

4) 標準品種として供試した「春扇」は初夏どり、「夏扇3号」は夏どり栽培の一般的な根深ネギで、対照品種「ふゆわらべ」は冬どり栽培に適したコンパクトネギである。

4. 具体的データ



図1 コンパクトネギ「ゆめわらべ」の外観（5月どり栽培）

A: (左)「ゆめわらべ」(右)「春扇」

B: (左)「ふゆわらべ」(右)「ゆめわらべ」

表1 コンパクトネギ「ゆめわらべ」の収量および品質

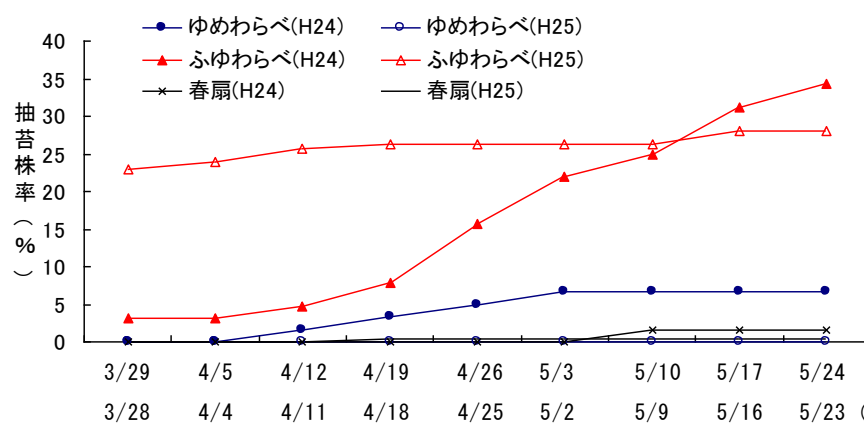
収穫期	品種	調製重 (g)	草丈 (cm)	葉鞘長 (mm)	軟白長 (cm)	最大葉身 折り径 (cm)	葉鞘径 (mm)	L級 ¹ 以上比率 (%)	換算収量 (kg/ 10a)
5月	ゆめわらべ	114	75.2	27.1	24.4	42.8	18.7	48	5,330
	ふゆわらべ	100	69.0	24.4	21.1	41.8	18.3	40	3,272
	春扇	82	86.9	35.4	28.3	31.9	18.3	11	4,070
8月	ゆめわらべ	108	66.5	25.2	23.6	34.0	19.8	49	5,204
	ふゆわらべ	81	61.7	22.9	21.2	32.6	17.8	8	4,045
	夏扇3号	98	66.8	26.3	24.6	27.2	17.1	8	4,925

注1 L級：葉鞘径 20 mm 以上 23 mm 未満（茨城県青果物出荷規格）

耕種概要 5月どり栽培 播種：9月25日 定植：12月3日 定植からビニルトンネル被覆（厚さ：0.075 mm）およびマルチ展張（色：グリーン、厚さ：0.02 mm） 換気：2月25日～4月1日
トンネル除去：4月1日

8月どり栽培 播種：2月3日 定植：4月8日

育苗：200穴セルトレイ（1穴2粒播種） 培養土（N成分）800 mg/L 畝間 80cm 株間 2.5cm（平床移植） 施肥量（kg/ 10a）基肥 N：12, P₂O₅：22, K₂O：12 追肥（1回当たり）N：5, K₂O：5を2回（土寄せ時） 調製：葉身を3枚残し、40 cmに剪葉した



注1 調査日：
H24（上段）H25（下段）
耕種概要
H24 播種：9月29日
定植：12月2日
H25 表1に同じ

図2 抽苔株率の推移

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

ライフスタイルの変化に対応したコンパクトネギの商品開発と春夏季安定生産技術の確立・平成22～平成24年度、野菜育成系統適応性検定試験・平成25年度・野菜研究室